

## MODELLISTA

MSD41-60005/6  
フロントスポイラー

取付・取扱要領書

この度は MODELLISTA フロントスポイラーをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。  
本書は本商品の取り付け、取り扱いについての要領と注意事項を記載してあります。  
取り付け前に必ずお読みのうえ、正しい取り付け、取り扱いを実施してください。  
なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

★ 本商品は未登録車への取り付けは出来ません、取り付けは車両登録後に行ってください。

## ■ 品番・適合車種

品番	塗装色	適合車種	型式	年式	備考
MSD41-60005-A1	ソニックオーツ(085)	LX	VJA310W	'21.12～	
MSD41-60005-C0	ブラック(202)				
MSD41-60005-C1	グレアイトブラックガラスレク(223)				
MSD41-60006-NP	未塗装品				

・最新の適合情報は MODELLISTA カタログサイトをご覧ください。 <https://www.modellista.co.jp/>

■ 構成部品

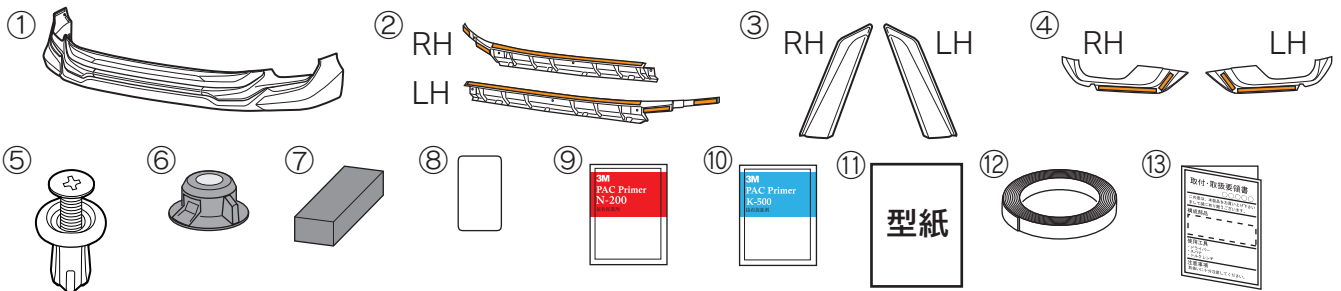
No.	部品名	品番	数量	備考
①	フロントスポイラー		1	
②	CTR リテーナー (RH/LH)		各1	
③	UPR メッキパーツ (RH/LH)		各1	
④	バンパーサイドパーツ (RH/LH)		各1	
⑤	クリップ		7	
⑥	クリップナット		2	
⑦	ルシーラー		2	t5.0×w10 L=35
⑧	シム		1	t=1.0
⑨	PAC プライマー N-200	08867-00220	1	
⑩	PAC プライマー K-500	08867-00230	1	
⑪	型紙		1	
⑫	両面テープ		1	t0.8×w4×L=3000
⑬	取付・取扱要領書		1	本書

以下、MSD41-60006-NP (未塗装品セット) のみに同梱

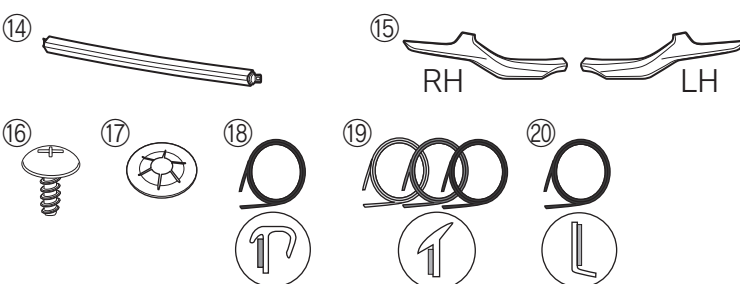
No.	部品名	品番	数量	備考
⑭	CTR メッキパーツ		1	
⑮	サイドメッキパーツ (RH/LH)		各1	
⑯	タッピングスクリュー		3	
⑰	丸型スピードナット		2	
⑱	モール (ヨ型)		1	ブラック L=2000mm
⑲	モール (イ型)		各1	ブラック L=270mm グレー L=270mm ライトグレー L=270mm
⑳	モール (L型)		1	ブラック L=200mm

※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

■ 構成部品図



以下、MSD41-60006-NP (未塗装品セット) のみに同梱



モール (イ型)⑲推奨使用色

塗装色 (色記号)	モール色
ソニックオーツ(085)	ライトグレー
ソニックタコム(1J7)	ブラック
マンガンスター(1K2)	ブラック
ブラック(202)	ブラック
グレアイトブラックガラスレク(223)	ブラック
フレーカーキヤメリック(6X4)	グレー

# 取付上のご注意（取付作業の方へ）

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取り付け作業を行ってください。



## 警告

この内容に従わず、誤った取り付け・取り扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。



## 注意

注意事項を守らないで、誤った取り付け・取り扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがある事を記載しています。



## アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

### ⊘ やってはいけないこと

### ❗ 必ず行っていただくこと



## 警告

- ⊘ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招くおそれがありますので絶対に行わないでください。
- ❗ 本商品の取り付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。
- ❗ 取り付け作業は規定トルクに従って、確実に締め付けてください。締め付けが足りないと脱落などにより重大な事故や故障を招くおそれがあります。



## 注意

- ❗ 本商品を取り付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取り付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- ❗ 本商品の取り付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取り扱いを行ない、同時に取り付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取り付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

## 脱脂作業について(別添の脱脂作業要領も参考にしてください。)

- ❗ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、イソプロピルアルコール(IPA)を使用し、左記以外の溶剤は絶対に使用しないでください。
- ❗ 脱脂作業にポディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

## 両面テープについて

- ❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
- ❗ 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。
- ❗ 本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。温度が足りないと両面テープが剥がれます。
- ❗ 両面テープの圧着は49N(5kgf)以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行ってください。圧着が足りないと両面テープが剥がれます。
- ⊘ 本商品の取り付け後24時間は、洗車や水(水拭きを含む)・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

## 未塗装品の塗装作業について

- ❗ 本商品は塗装前に下地処理が必要です、必ずサフェーサー塗装から始めてください。
- ❗ 本商品に塗装をする際は、両面テープを全面マスキングしてください。
- ❗ 乾燥させる際は製品の変形の無いよう固定してください。又、乾燥温度が高くと変形やひび割れを起こしますので60℃以下で乾燥させてください。

## 取り付けが終わったら

- ❗ 取り付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ❗ 作業でバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。
- ❗ 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

## ■ 目次

1. 表紙、品番・適合車種、構成部品、構成部品図 . . . . . 1～2
2. 取付上のご注意（取付作業の方へ） . . . . . 3
3. 目次、取り付けに必要な工具・保護具・消耗品、保証について、取付構成図 . . . 4
4. 取付準備、取付要領 . . . . . 5～15
5. 取付完了後の点検・注意事項 . . . . . 15
6. 未塗装品の取り扱いについて . . . . . 16～21
7. 補修キット両面テープ貼り付け . . . . . 22

## ■ 取り付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・ 一般工具
- ・ 加工用工具（ハサミ・カッター等）
- ・ 電動ドリル（刃：3.0mm/5.0mm/6.0mm/10.0mm）
- ・ 軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ・養生テープ
- ・ イソプロピルアルコール（IPA）・清潔なウエス

## ■ 保証について

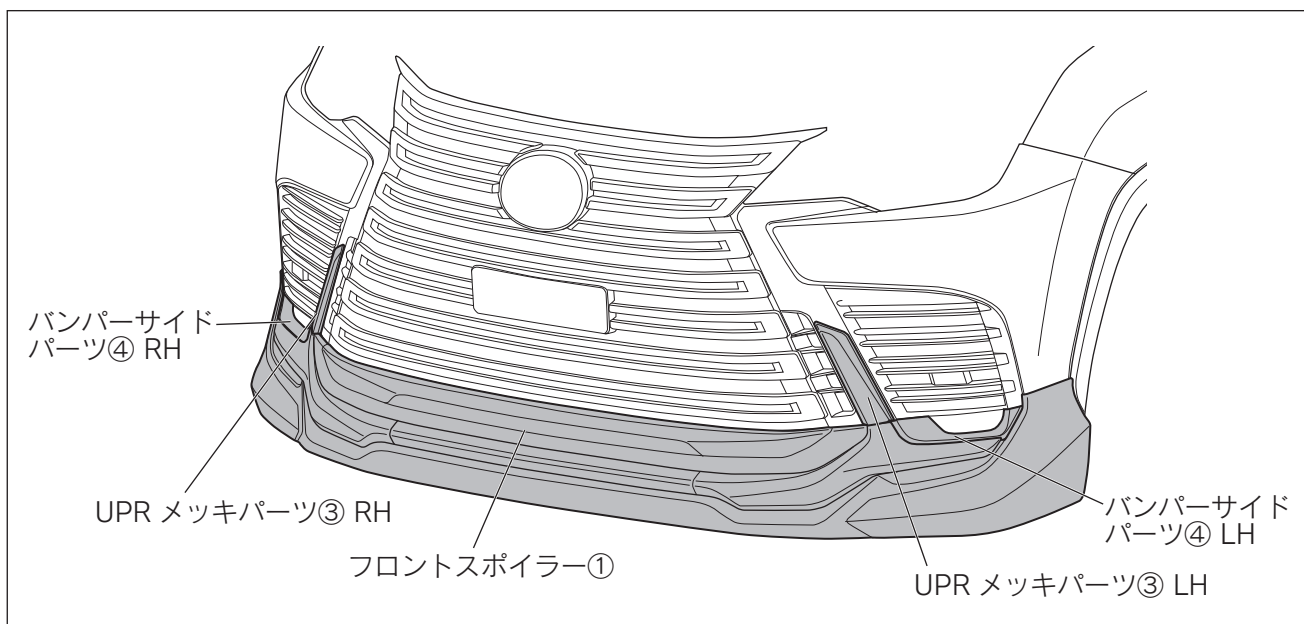
本商品は、3年・60,000Kmの保証を実施致します。

（3年または60,000Km走行時点のいずれか早い方まで）

※保証の詳細は MODELLISTA パーツカタログサイト <<https://www.modellista.co.jp/>>

「保証について」をご覧ください。

## ■ 取付構成図



## ■ 取付準備、取付要領

※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

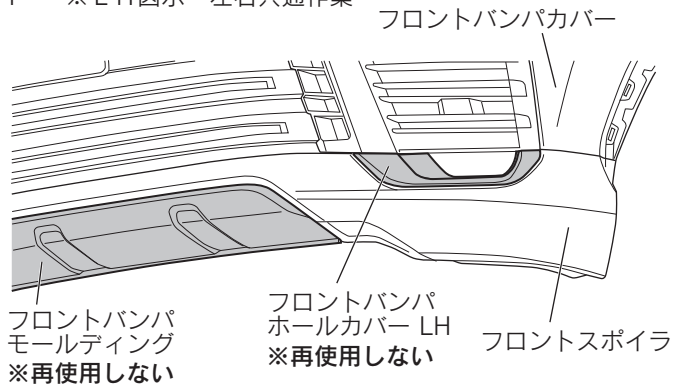
### □ フロントスポイラー取付準備

1. 該当車両の修理書に従い、車両フロントバンパ ASSY を取り外す。

△注意：取り外した車両部品、車両クリップ、車両ビス類は再使用しますので、無くさないように必ず保管してください。

△注意：フロントフェンダモールディングの両面テープは再使用できません。車両復元の際は同梱の両面テープ⑫を使い、該当車両の修理書に従って両面テープの貼り付けを行ってください。

図1 ※LH図示 左右共通作業

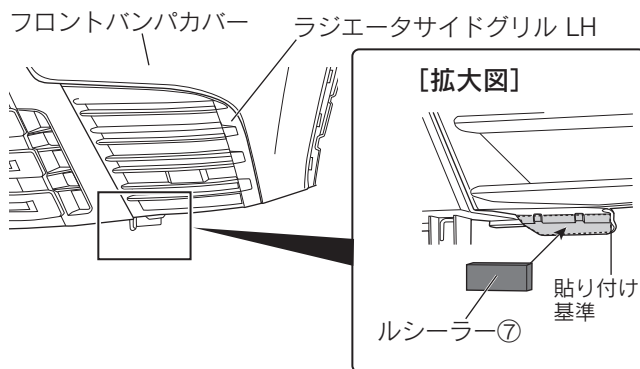


2. 図1のように該当車両の修理書に従い、フロントバンパカバーからフロントバンパモールディング、フロントバンパホールカバー、フロントスポイラーを取り外す。

△注意：取り外した車両ビスは再使用しますので、無くさないように必ず保管してください。

△注意：取り外したフロントバンパモールディング、フロントバンパホールカバーは再使用しません。

図2 ※LH図示 左右共通作業



3. 図2のようにラジエータサイドグリル下部のルシーラー⑦貼り付け部の汚れを取り除き、イソプロピルアルコール (IPA) で一方向に拭いて脱脂し、ルシーラー⑦を貼り付ける。(左右各1箇所)

△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

👉 アドバイス：脱脂作業を行う際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。

4. 図3のようにバンパーサイドパーツ④裏面のツメをフロントスポイラーに差し込み、車両ビス（左右各2箇所）で固定する。

5. 図3のように該当車両の修理書に従い、フロントスポイラーをフロントバンパカバーに復元する。

図3 裏面視 ※LH図示 左右共通作業

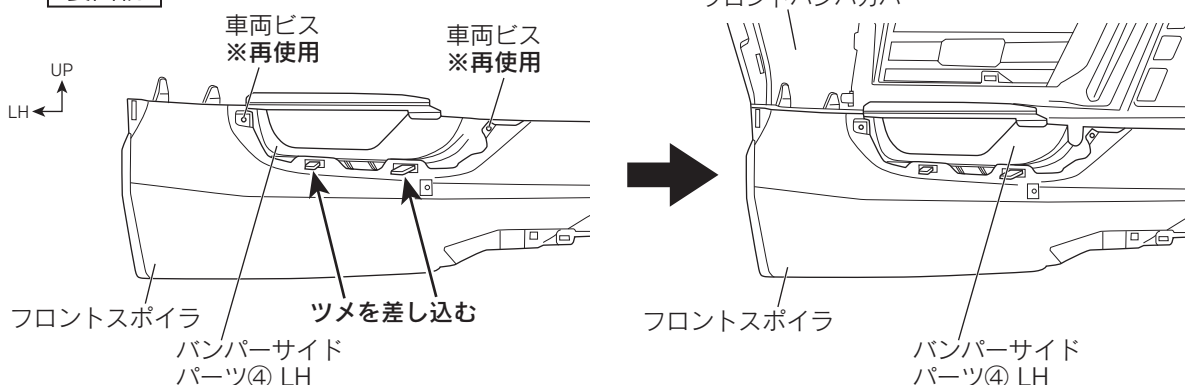
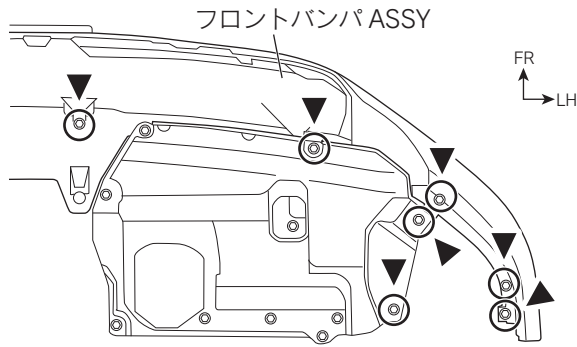


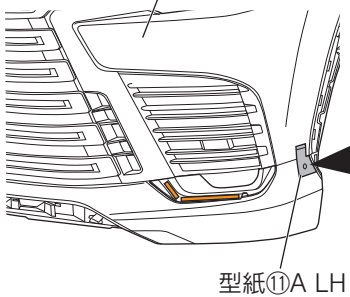
図4 下面視 ※LH図示 左右共通作業



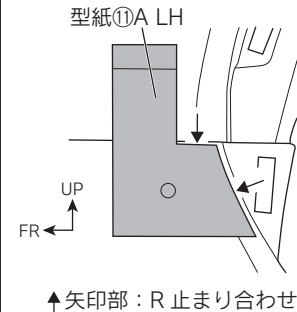
▼車両ビス（左右各7箇所）：取り付けない

6. 図4のように該当車両の修理書に従い、フロントバンパASSYを車両に復元する。その際に下面の車両ビス（図示部左右各7箇所）はここでは取り付けない。また、本製品取り付けの際にフロントバンパASSY裏側にアクセスするため、フロントフェンダモールディングおよびフロントフェンダスプラッシュシールドは固定せず、捲れるようにしておく。

図5 ※LH図示 左右共通作業  
フロントバンパASSY



【側面視拡大図】

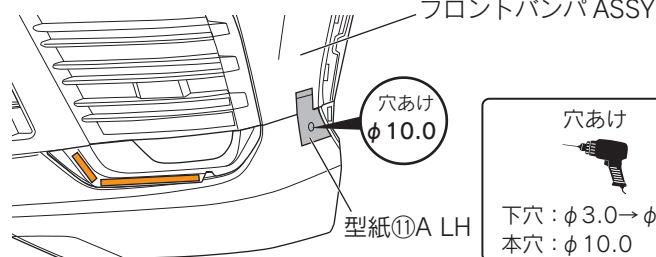


型紙①A LH

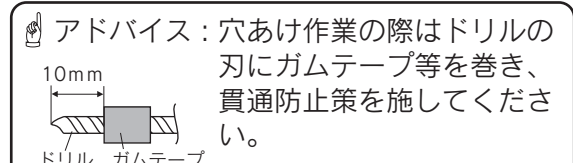
↑矢印部：R止まり合わせ

7. 図5のようにフロントバンパASSY側面に型紙①Aを貼り付ける。（左右各1箇所）

図6 ※LH図示 左右共通作業

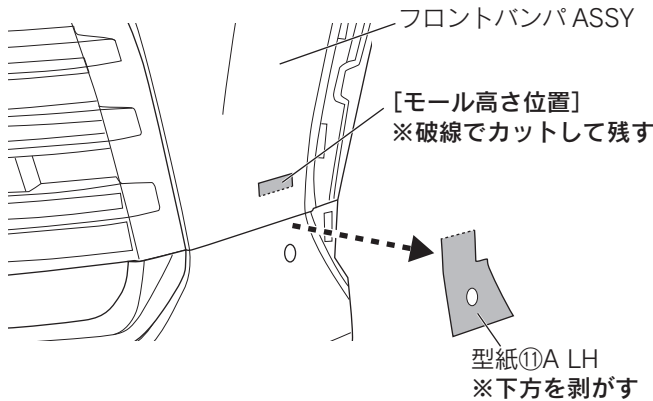


8. 図6のように型紙①Aの穴あけ位置に合わせて下穴φ3.0→φ6.0の順であけ、φ10.0の本穴をあける。（左右各1箇所）



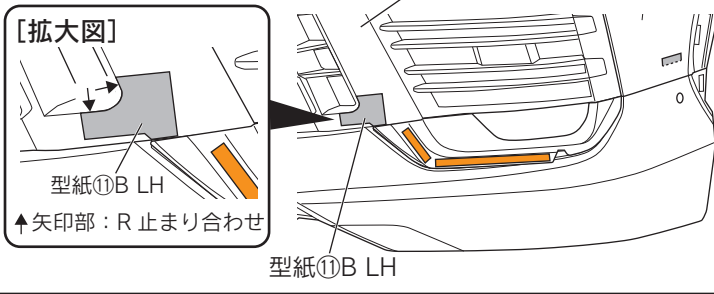
アドバイス：穴あけ作業の際はドリルの刃にガムテープ等を巻き、貫通防止策を施してください。

図7 ※LH図示 左右共通作業



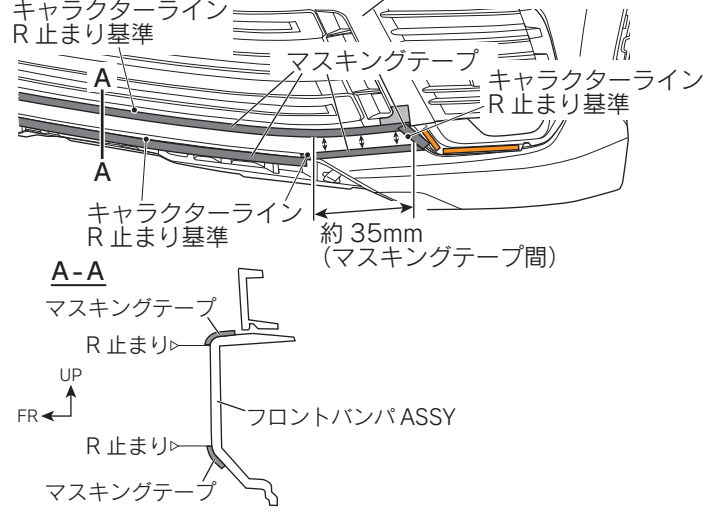
9. 図7のように型紙①Aの破線に沿って切り取り、モール高さ位置を残して下方を剥がし、加工穴周囲のバリを除去する。（左右各1箇所）

図8 ※LH図示 左右共通作業



10. 図8のようにフロントバンパASSYの左図位置に型紙①Bを貼り付ける。  
(左右各1箇所)

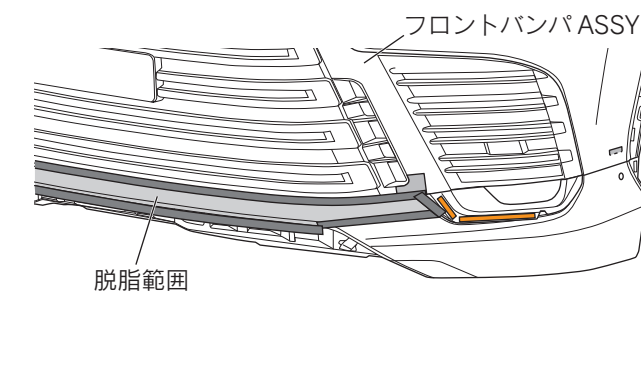
図9 ※LH図示 左右共通作業



11. 図9のようにCTRリテーナー②の両面テープ貼り付け部に合わせてフロントバンパASSYにマス킹テープを貼り付ける。

△注意: PACプライマー塗布範囲のマス킹作業のため正確なマス킹を行ってください。

図10 ※LH図示 左右共通作業

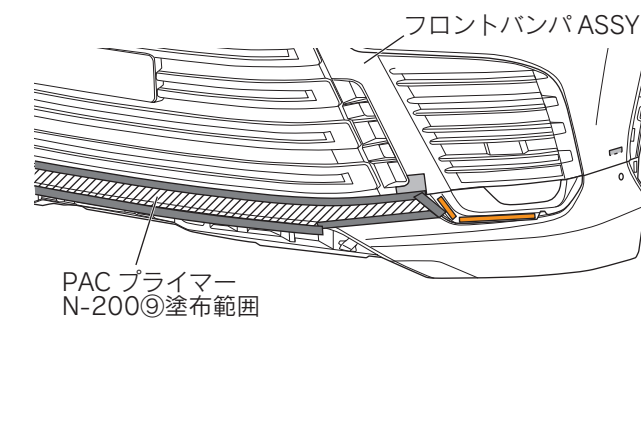


12. 図10のようにCTRリテーナー②の両面テープ貼り付け部の汚れを取り除き、イソプロピルアルコール (IPA) で一方向に拭いて脱脂する。

△注意: 脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

🔥 アドバイス: 脱脂作業を行う際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。

図11 ※LH図示 左右共通作業



13. 図11のようにCTRリテーナー②の両面テープ貼り付け部 (左図斜線部) にPACプライマー N-200⑨を塗布する。

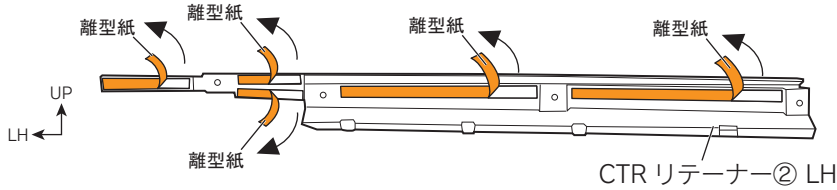
△注意: PACプライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール (IPA) で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

△注意: PACプライマー N-200は後の工程で再使用します。揮発性が高いため速やかに袋に戻し揮発を抑えてください。

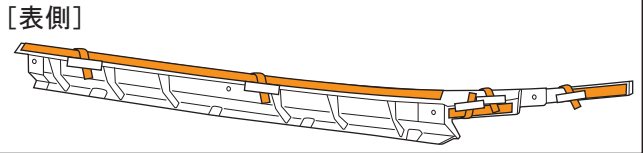
14. マス킹テープを剥がす。

15. 図 12 のように CTR リテーナー②の両面テープの離型紙を矢印の方向に約 30mm 剥がしてマスキングテープ等で表側に貼り付ける。(左右各5箇所)

図 12 裏面視 ※LH図示 左右共通作業

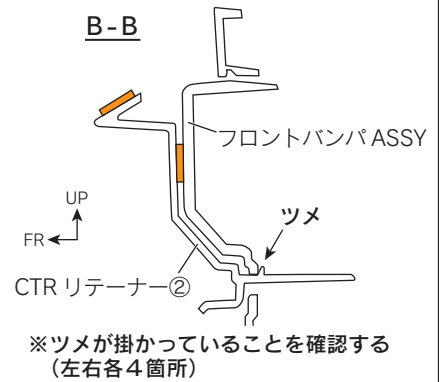
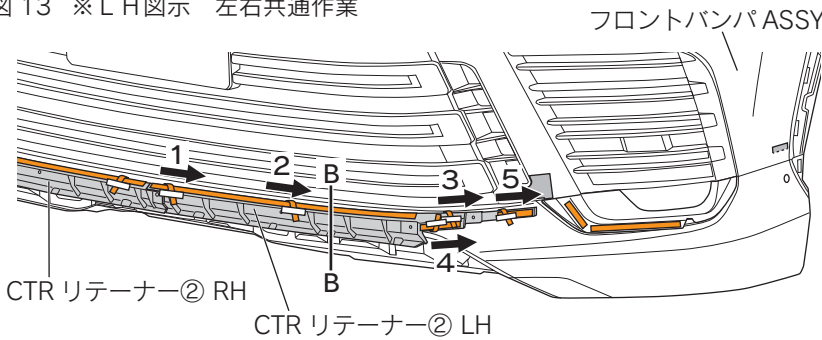


アドバイス：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼り付け作業前に両面テープ部及び車両の貼り付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めてください。



16. 図 13 のようにフロントバンパ ASSY に CTR リテーナー②を LH、RH の順に裏面のツメを差し込みながら取り付け、両面テープの離型紙を矢印の方向へ番号順に剥がしながら貼り付け圧着する。(左右各5箇所)

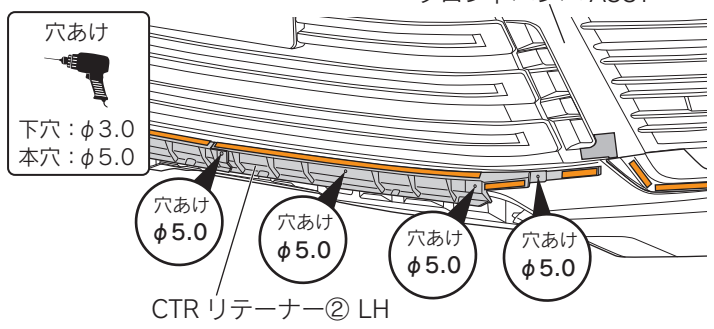
図 13 ※LH図示 左右共通作業



△注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙や浮き・剥がれが発生するおそれがあります。

△注意：両面テープの圧着は、49N(5kgf) 程度の力で行ってください。

図 14 ※LH図示 左右共通作業 フロントバンパ ASSY



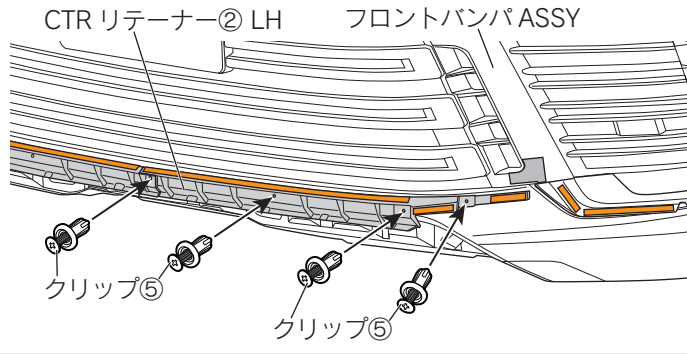
17. 図 14 のように CTR リテーナー②の穴位置に合わせてフロントバンパ ASSY にφ 3.0 の下穴をあけ、φ 5.0 の本穴をあける。(中央1箇所、左右各3箇所)

アドバイス：穴あけ作業の際はドリルの刃にガムテープ等を巻き、貫通防止策を施してください。

18. 加工穴周囲のバリを除去する。(中央1箇所、左右各3箇所)

19. CTR リテーナー②の取り付け状態を確認し、両面テープ貼り付け部を再圧着する。

図 15 ※L H図示 左右共通作業



20. 図 15 のように CTR リテーナー②の穴位置に合わせてクリップ⑤を取り付ける。  
(中央 1 箇所、左右各 3 箇所)

21. 図 16 のようにフロントバンパ ASSY 正面および側面の型紙①のモール高さ位置に合わせてフロントスポイラー①をあて、取り付け位置を確認して養生テープで仮固定する。

図 16 ※L H図示 左右共通作業

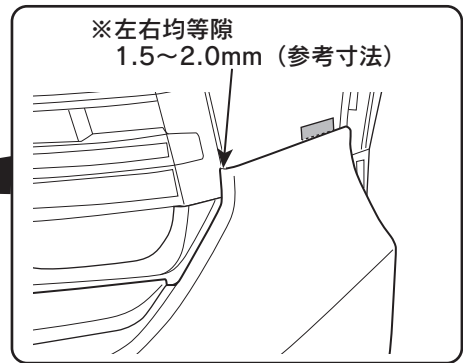
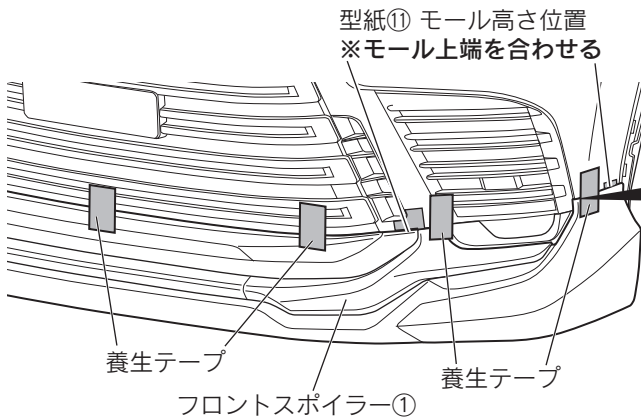
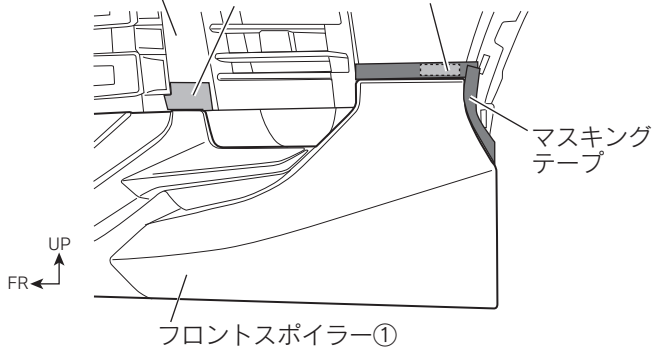


図 17 側面視 ※L H図示 左右共通作業  
フロントバンパ ASSY 型紙① モール高さ位置

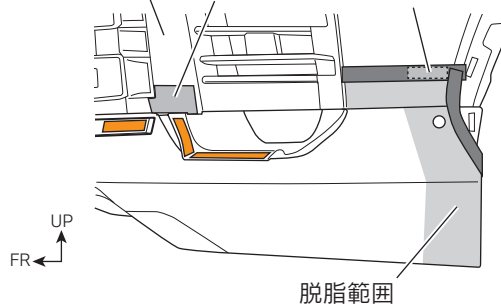


22. 図 17 のようにフロントスポイラー①端末（モール貼り付け部はモール上端）に合わせてフロントバンパ ASSY 側面にマス킹テープを貼り付ける。

△注意：PAC プライマー塗布範囲のマス킹作業のため正確なマス킹を行ってください。

23. フロントスポイラー①を取り外す。

図 18 側面視 ※L H図示 左右共通作業  
フロントバンパ ASSY 型紙① モール高さ位置



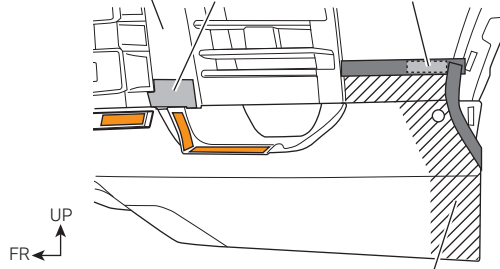
24. 図 18 のようにフロントスポイラー①の両面テープ貼り付け部の汚れを取り除き、イソプロピルアルコール (IPA) で一方向に拭いて脱脂する。

△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

👉 アドバイス：脱脂作業を行う際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。

図 19 側面視 ※L H図示 左右共通作業

フロントバンパ ASSY 型紙⑪ モール高さ位置

PAC プライマー  
N-200⑨塗布範囲  
約 40mm 幅

25. 図 19 のようにフロントスポイラー①の両面テープ貼り付け部（左図斜線部）に PAC プライマー N-200⑨を塗布する。

△注意：PAC プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール（IPA）で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

△注意：PAC プライマー N-200 は後の工程で再使用します。揮発性が高いため速やかに袋に戻し揮発を抑えてください。

26. マスキングテープを剥がす。  
※型紙⑪は剥がさないでください。

27. 図 20 のようにフロントスポイラー①裏面の CTR リテーナー②、バンパーサイドパーツ④の両面テープ貼り付け部の汚れを取り除き、イソプロピルアルコール（IPA）で一方向に拭いて脱脂する。

△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

👉 アドバイス：脱脂作業を行う際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。

図 20 裏面視 ※L H図示 左右共通作業

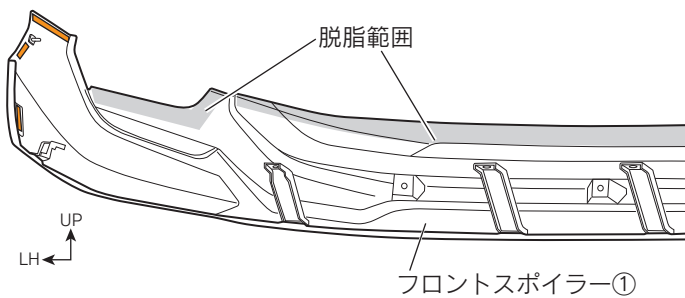
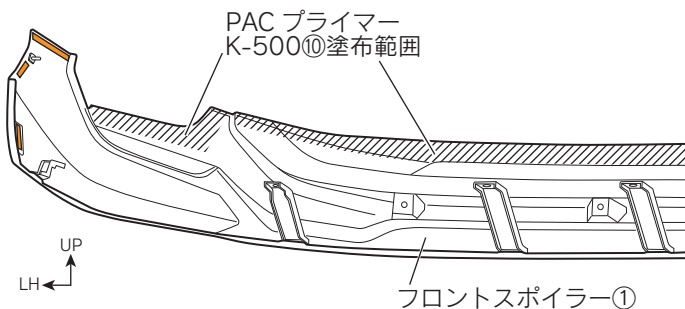


図 21 裏面視 ※L H図示 左右共通作業

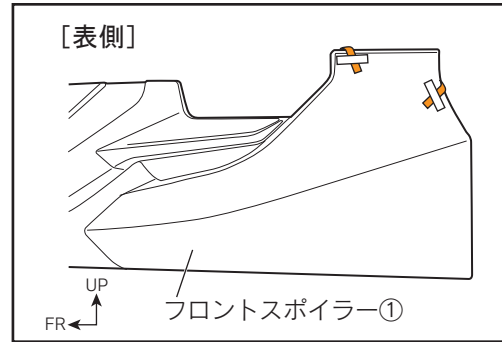
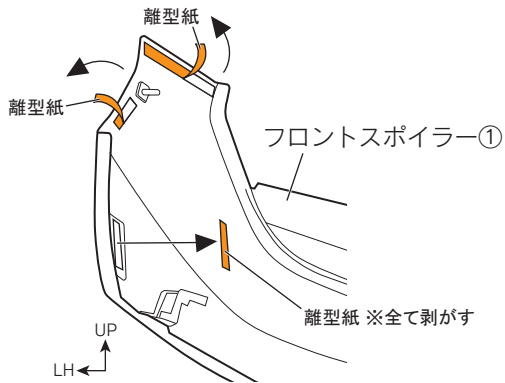


28. 図 21 のようにフロントスポイラー①裏面の CTR リテーナー②、バンパーサイドパーツ④の両面テープ貼り付け部（左図斜線部）に PAC プライマー K-500⑩を塗布する。

△注意：PAC プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール（IPA）で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

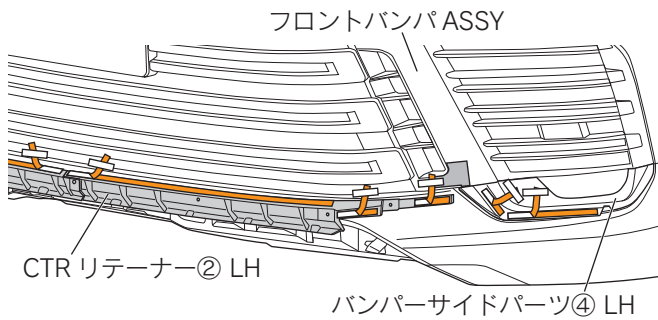
29. 図 22 のようにフロントスポイラー①の両面テープの離型紙を矢印の方向に約 30mm 剥がしてマスキングテープ等で表側に貼り付ける。(左右各 2 箇所、全剥がし左右各 1 箇所)

図 22 裏面視 ※ L H 図示 左右共通作業



👉 アドバイス：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼り付け作業前に両面テープ部及び車両の貼り付け部をドライヤー等で約 40℃ 程度に温めてください。

図 23 ※ L H 図示 左右共通作業

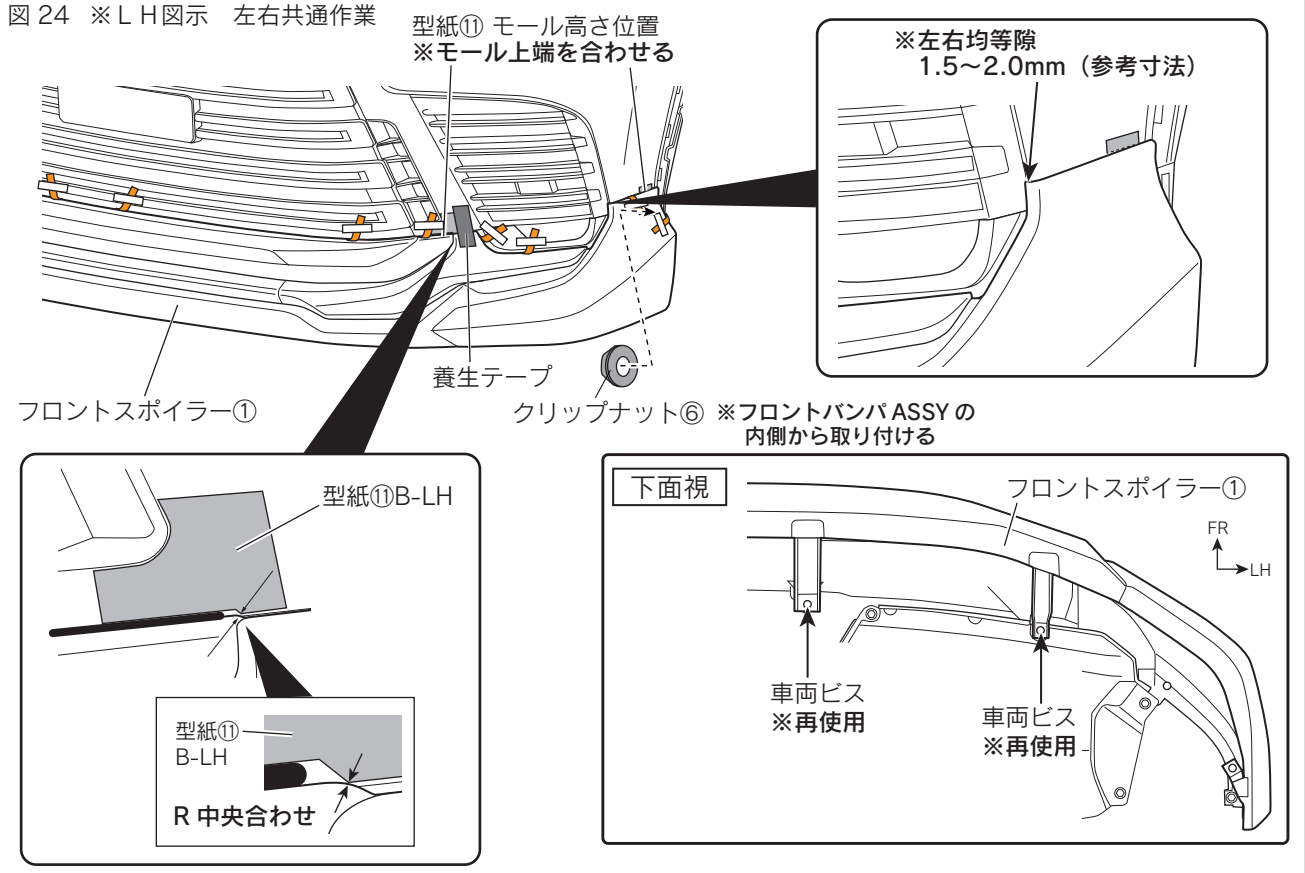


30. 図 23 のように CTR リテーナー②、バンパーサイドパーツ④の両面テープの離型紙を矢印の方向に約 30mm 剥がしてマスキングテープ等で上方に貼り付ける。(左右各 5 箇所)

## □フロントスポイラー取付要領

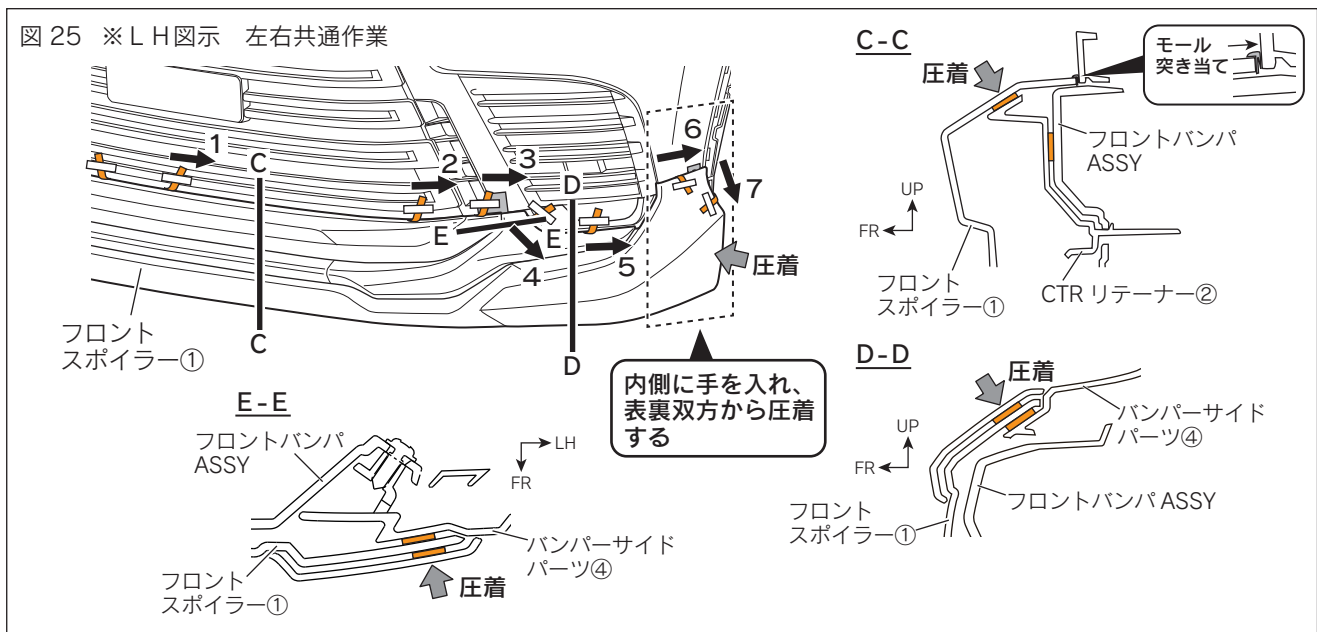
1. 図 24 のようにフロントバンパASSY 側面の型紙①のモール高さ位置に合わせてフロントスポイラー①をあて、下面中央ブラケット部を車両ビスで仮締めし（左右各2箇所）、側面をフロントバンパASSY 内側からクリップナット⑥（左右各1箇所）で仮締めし、サイドメッキ部を養生テープで仮固定する。

図 24 ※LH 図示 左右共通作業



2. 図 25 のように取り付け位置を確認して両面テープの離型紙を矢印の方向へ番号順に剥がし、ヨ型モールをフロントバンパASSY に突き当てながら貼り付け圧着する。（左右各8箇所）

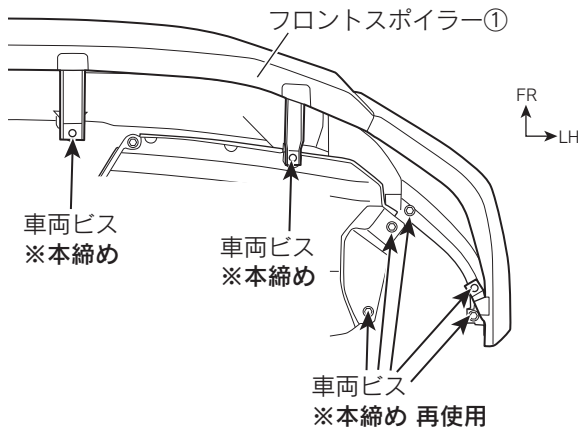
図 25 ※LH 図示 左右共通作業



△注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙や浮き・剥がれが発生するおそれがあります。

△注意：両面テープの圧着は、49N(5kgf) 程度の力で行ってください。

図 26 下面視 ※LH図示 左右共通作業



3. 型紙①A、Bを剥がし、クリップナット⑥を本締めする。(左右各1箇所)
4. 図 26 のようにフロントスポイラー①下面ブラケット部の車両ビス (左右各3箇所) を本締めし、下面図示部を車両ビスで本締めして固定 (左右各4箇所) する。
5. 両面テープ⑫を元の長さにカットし、該当車両の修理書に従い、フロントフェンダモールディングに貼り付ける。

## ■テープ長さ

前側：約 948mm、後側：約 473mm

△注意：フロントフェンダモールディングの両面テープは再使用できません。車両復元の際は同梱の両面テープ⑫を使い、該当車両の修理書に従って両面テープの貼り付けを行ってください。

6. 該当車両の修理書に従い、フロントフェンダスプラッシュシールドおよびフロントフェンダモールディングを復元する。
7. フロントスポイラー①の取り付け状態を確認し、両面テープ貼り付け部を再圧着する。
8. 図 27 のように UPR メッキパーツ③をフロントバンパ ASSY にあて、UPR メッキパーツ③下端とフロントスポイラー①メッキパーツ上端の間にシム⑧を挟み、一定隙になるよう取り付け位置を確認して養生テープで仮固定する。

図 27 ※LH図示 左右共通作業

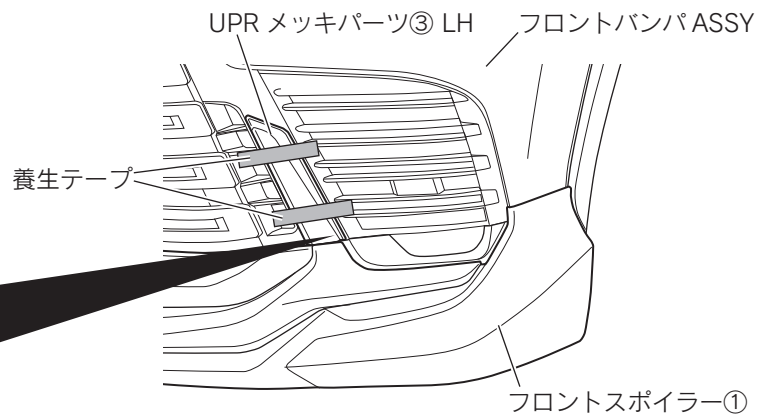
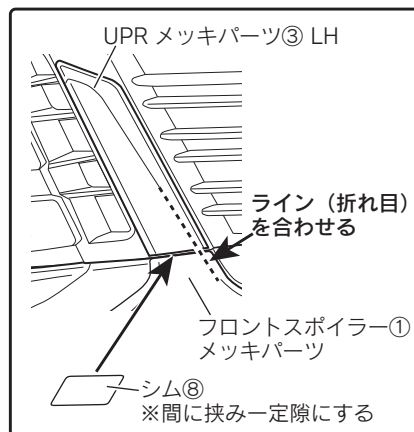
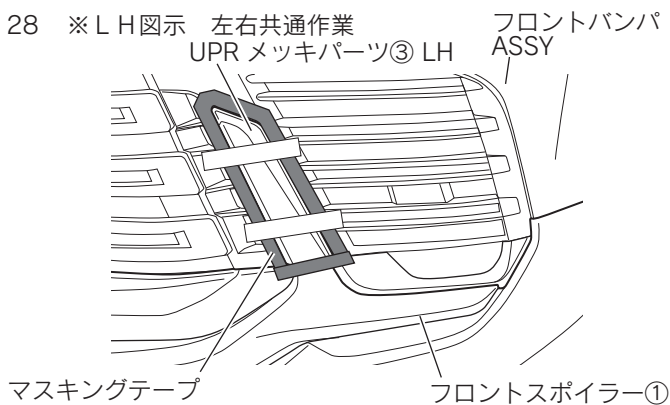


図 28 ※LH図示 左右共通作業

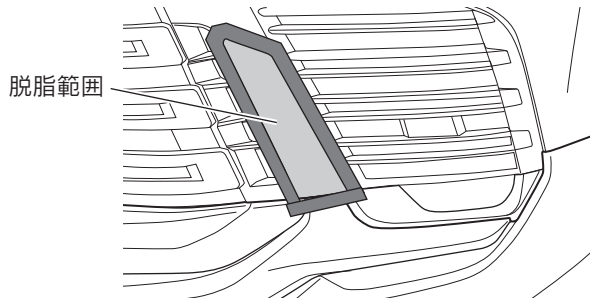


9. 図 28 のように UPR メッキパーツ③周囲端末に合わせてフロントバンパ ASSY にマスキングテープを貼り付ける。

△注意：PAC プライマー塗布範囲のマスキング作業のため正確なマスキングを行ってください。

10. UPR メッキパーツ③を取り外す。

図 29 ※LH図示 左右共通作業

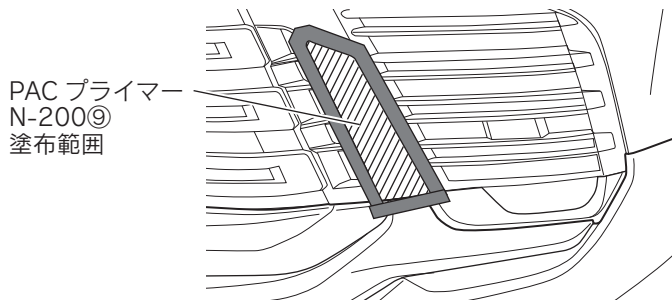


11. 図 29 のように UPR メッキパーツ③の両面テープ貼り付け部の汚れを取り除き、イソプロピルアルコール (IPA) で一方向に拭いて脱脂する。

△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

👉アドバイス：脱脂作業を行う際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。

図 30 ※LH図示 左右共通作業

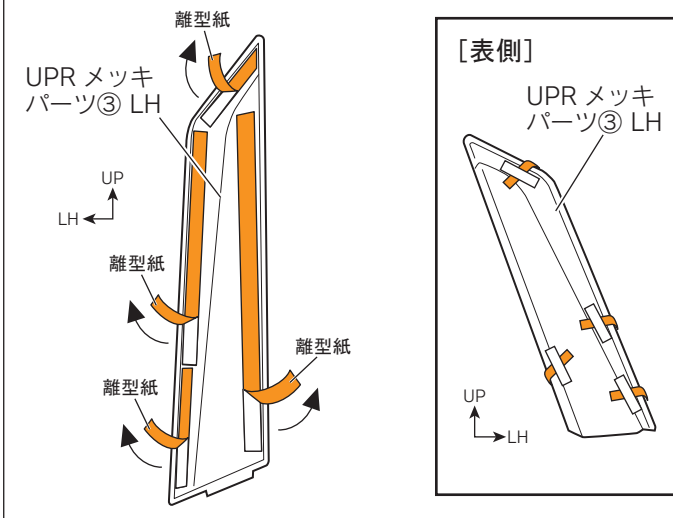


12. 図 30 のように UPR メッキパーツ③の両面テープ貼り付け部 (左図斜線部) に PAC プライマー N-200⑨を塗布する。

△注意：PAC プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール (IPA) で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

13. マスキングテープを剥がす。

図 31 裏面視 ※LH図示 左右共通作業

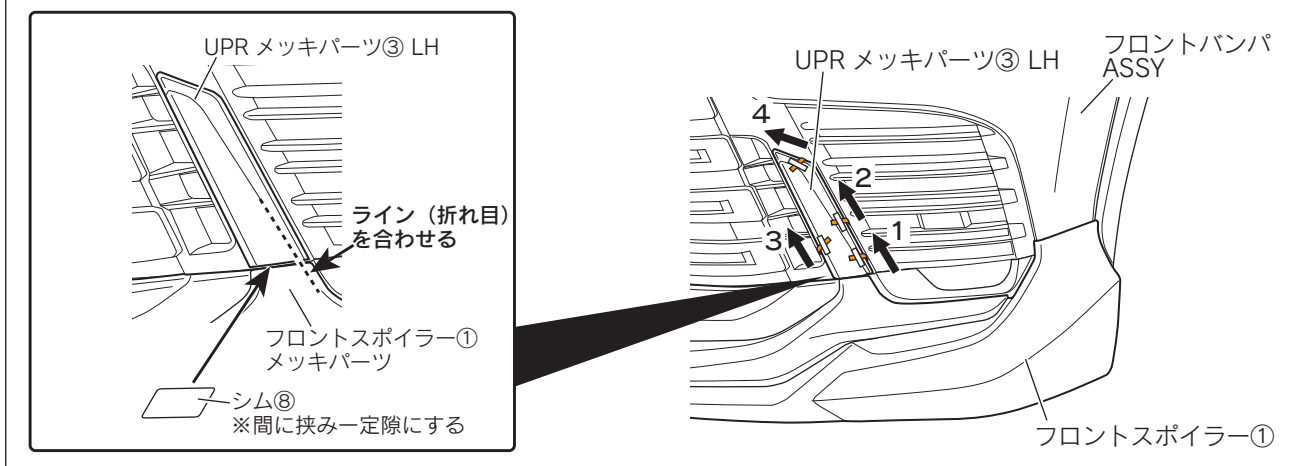


14. 図 31 のように UPR メッキパーツ③の両面テープの離型紙を矢印の方向に約 30 mm 剥がしてマスキングテープ等で表側に貼り付ける。(左右各4箇所)

👉アドバイス：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼り付け作業前に両面テープ部及び車両の貼り付け部をドライヤー等で約40℃程度に温めてください。

15. 図 32 のように UPR メッキパーツ③をフロントバンパ ASSY にあて、UPR メッキパーツ③下端とフロントスポイラー①メッキパーツ上端の間にシム⑧を挟み、一定隙になるよう取り付け位置を確認して両面テープの離型紙を矢印の方向へ番号順に剥がしながら貼り付け圧着する。(左右各4箇所)

図 32 ※LH 図示 左右共通作業



△注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙や浮き・剥がれが発生するおそれがあります。

△注意：両面テープの圧着は、49N(5kgf) 程度の力で行ってください。



#### アドバイス

両面テープの接着力は安定するまで3～5時間程度必要です。  
製品の取り付け後は、最低3時間程度、強い振動や風圧（車両の移動を含む）が、掛からないようにオープンタイム（静止時間）お取りください。



#### 警告

両面テープは十分に圧着してください。圧着が不十分な場合、浮き・剥がれ等の症状が発生し脱落などの重大な不具合が発生する可能性があります。  
両面テープ接着後、24時間以内は雨・洗車等で接着部に水が掛からないようにしてください。接着力が低下し、剥がれ・脱落等が発生する可能性があります。

16. UPR メッキパーツ③の取り付け状態を確認し、両面テープ貼り付け部を再圧着する。

#### ■取付完了後の点検・注意事項

1. 製品全周に渡り、浮き・剥がれ等、無いことを確認する。
2. 車両及びフロントスポイラー廻りに傷が付いていないことを確認する。
3. 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。  
該当車両の修理書（トヨタ自動車(株)発行）に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

## ■ 未塗装品の取り扱いについて

下記は未塗装品 (MSD41-60006-NP) の塗装前、塗装後の作業を記載しています。  
下記要領に従い作業を行ってください。

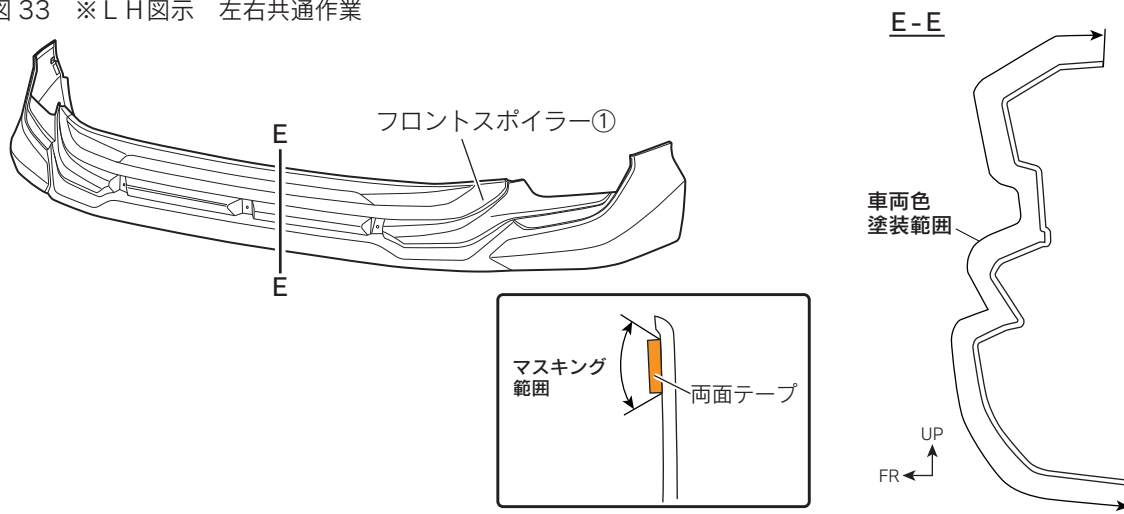
△注意:本製品は下地処理として、製品表面の面出しまで実施してあります。塗装前の下地処理として、足付け、脱脂、プライマーサフェーサー塗装は販売店様にて実施してください。

※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

### □ フロントスポイラーの塗装

1. フロントスポイラー①に貼り付けてある両面テープ、M6 ボルト (スタッドボルト)、ブラケットを全面マスキングする。
2. 図 33 のようにフロントスポイラー①を車両色で塗装する。

図 33 ※LH図示 左右共通作業



△注意:本製品は〈ABS〉です。

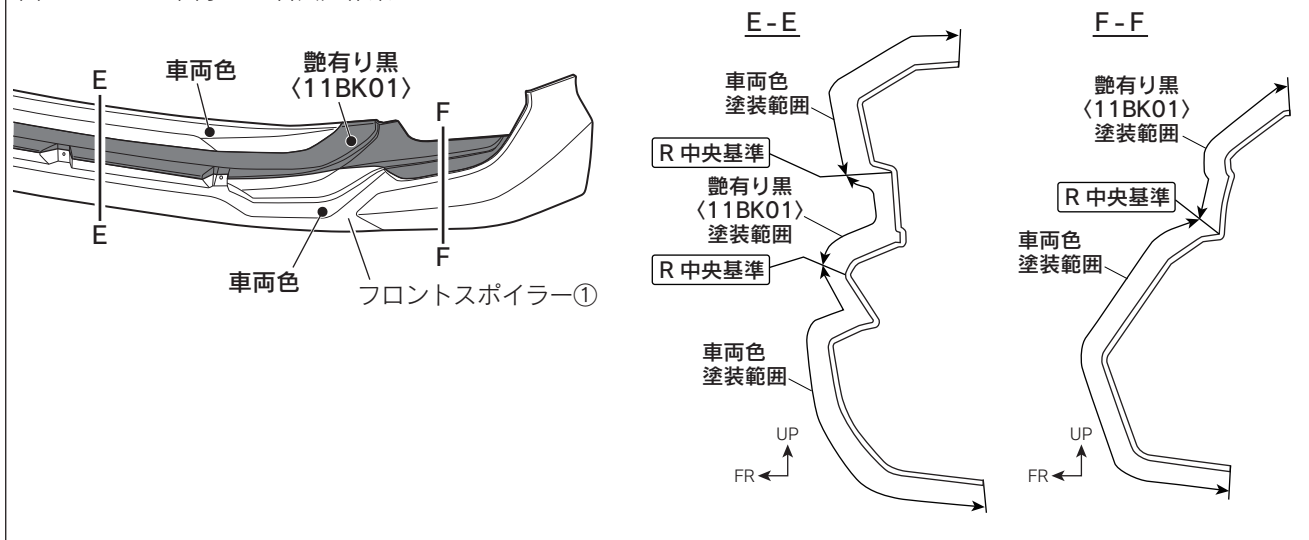
乾燥温度を 60℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。

上塗り用の塗装にはウレタン系をご使用ください。

△警告:両面テープには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。マスキングテープを貼るなどして、対応してください。

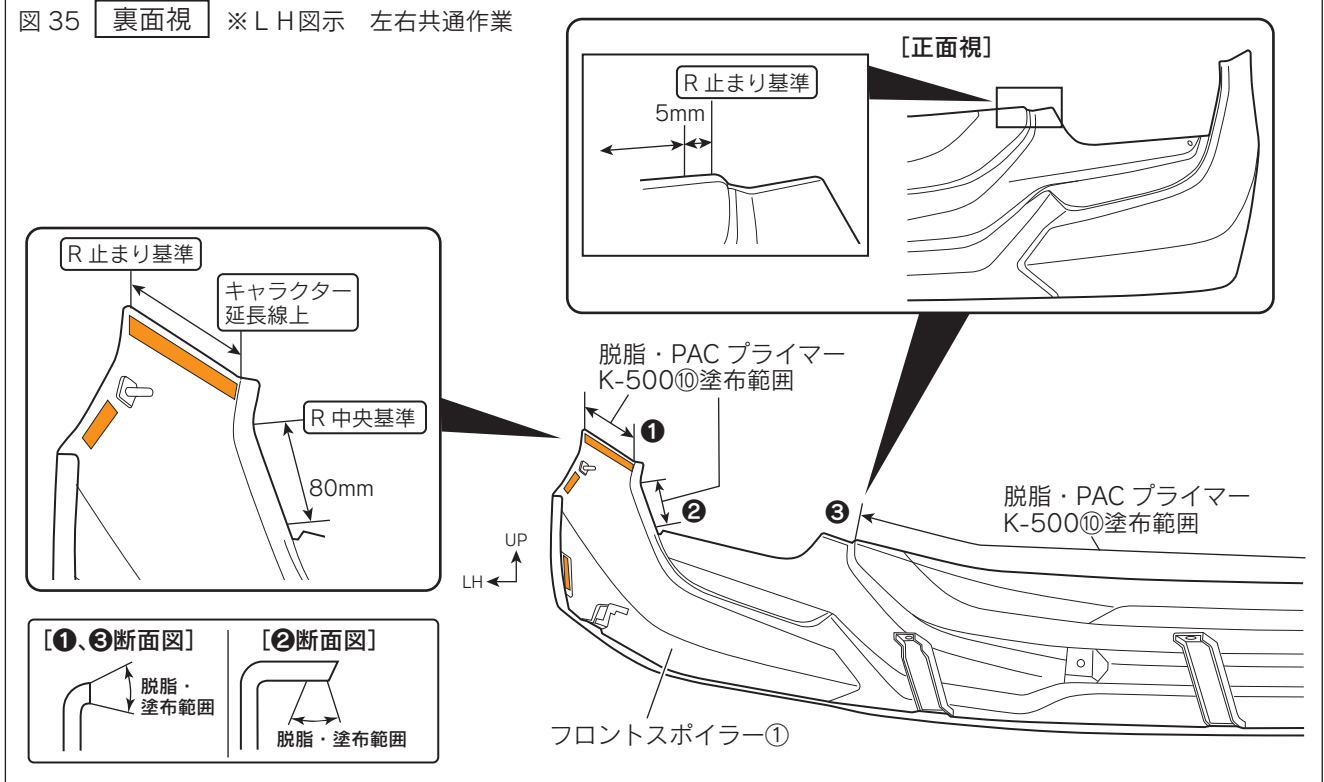
3. 図 34 のようにフロントスポイラー①を艶有り黒〈11BK01〉で塗り分け塗装する。

図 34 ※LH図示 左右共通作業



## □モールの貼り付け

1. 図 35 のようにフロントスポイラー①のモール (ヨ型)⑱、モール (イ型)⑲、モール (L 型)⑳貼り付け部の汚れを取り除き、イソプロピルアルコール (IPA) で一方向に拭いて脱脂し、モール貼り付け部のみ PAC プライマー K-500⑩を塗布する。



△注意：PAC プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール (IPA) で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

△注意：PAC プライマー K-500 は本製品取り付け時に再使用します。  
揮発性が高いので速やかに袋に戻し揮発を抑えてください。

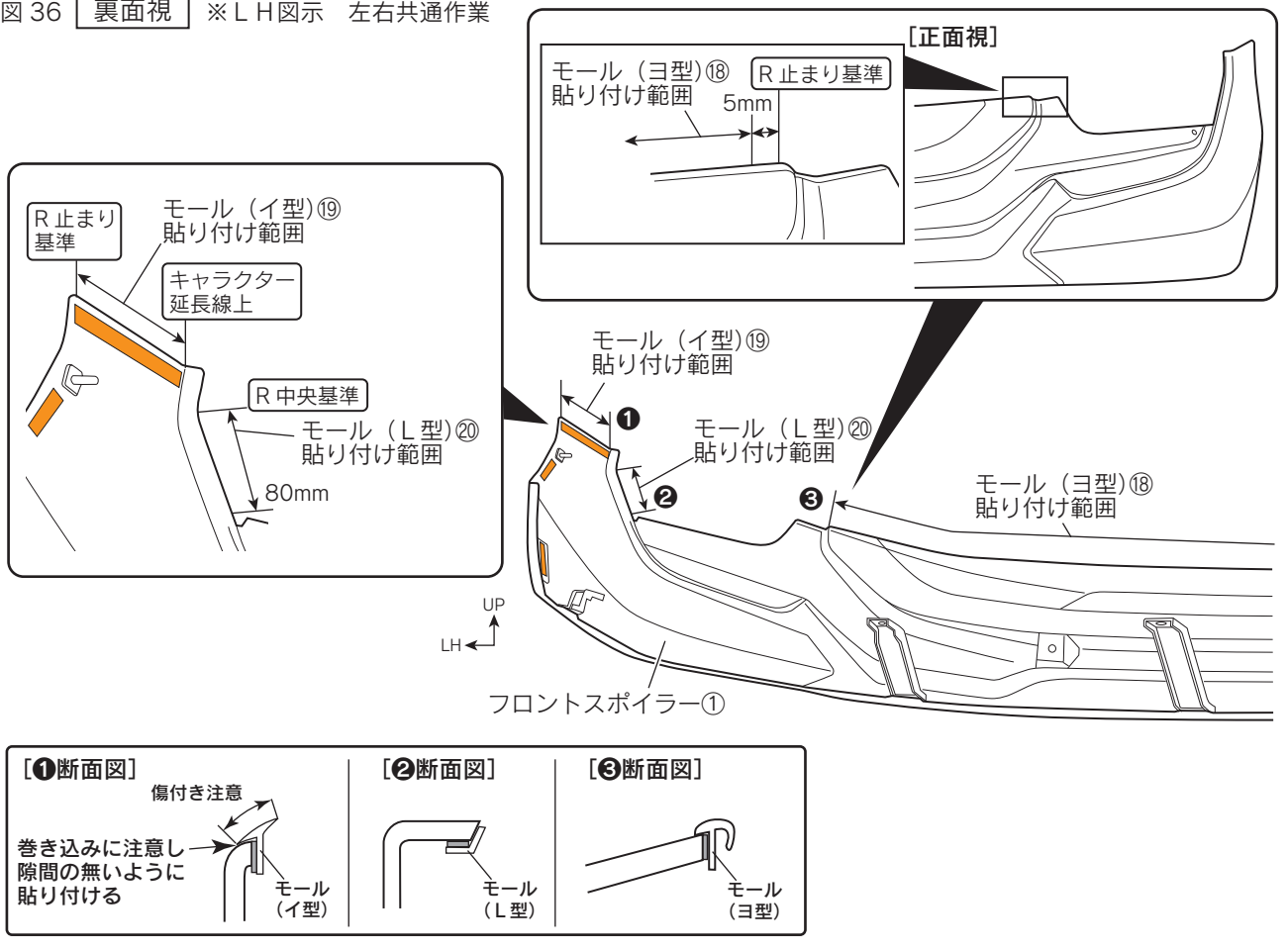
👉 アドバイス：脱脂作業を行う際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。

△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。  
油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

👉 アドバイス：脱脂後は、十分に乾燥させてください。

2. 図 36 のようにフロントスポイラー①にモール (ヨ型)⑱、モール (イ型)⑲、モール (L型)⑳の両面テープの離型紙を剥がしながら、貼り付け圧着する。  
 モールは長めに設定されているので、長さを合わせてハサミ等で切り落とす。

図 36 裏面視 ※ LH 図示 左右共通作業



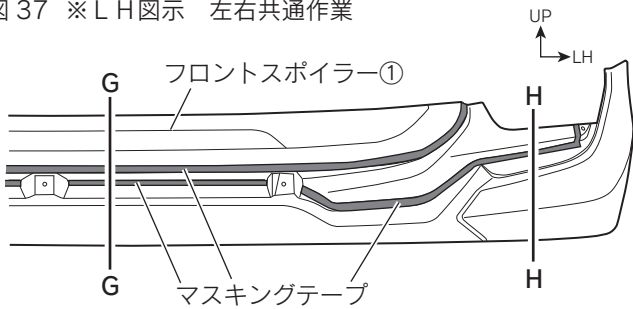
△注意：モール (イ型)⑲は、3色同梱されています。  
 塗装色に合わせてモール色を選択し貼り付けてください。

🔊 アドバイス：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼り付け作業前に両面テープ部及び貼り付け部をドライヤー等で約40℃程度に温めてください。

## □メッキパーツの取り付け

1. 図 37 のようにフロントスポイラー①にマスキングテープを貼り付ける。

図 37 ※ L H 図示 左右共通作業



△注意：PAC プライマー塗布範囲のマスキング作業のため正確なマスキングを行ってください。

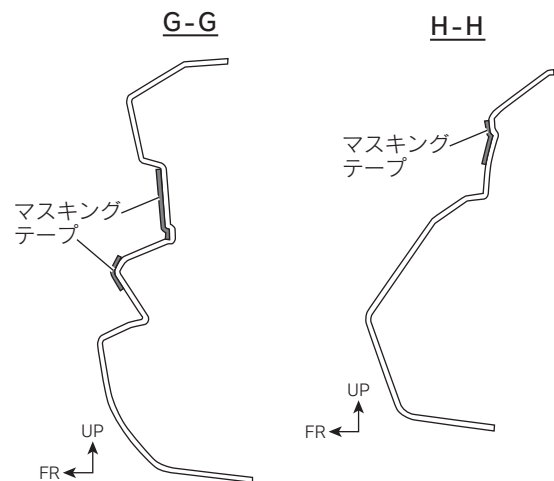
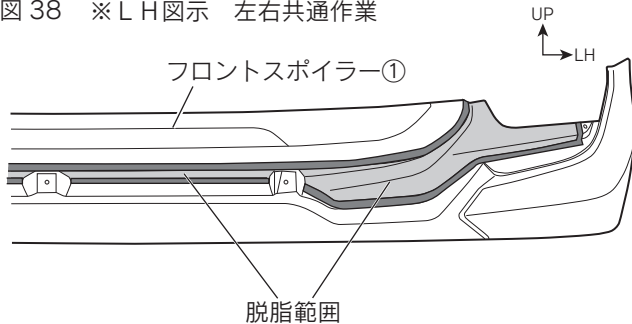


図 38 ※ L H 図示 左右共通作業

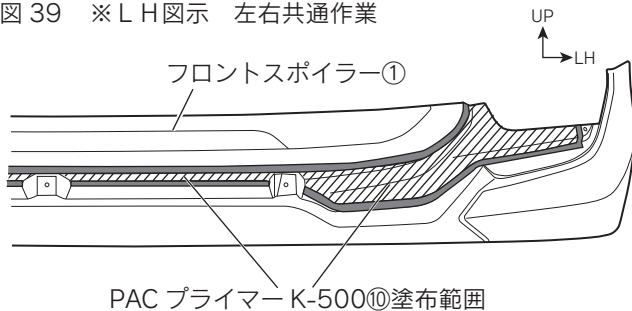


2. 図 38 のように CTR メッキパーツ⑭、サイドメッキパーツ⑮の両面テープ貼り付け部の汚れを取り除き、イソプロピルアルコール (IPA) で一方向に拭いて脱脂する。

△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

👉 アドバイス：脱脂作業を行う際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。

図 39 ※ L H 図示 左右共通作業



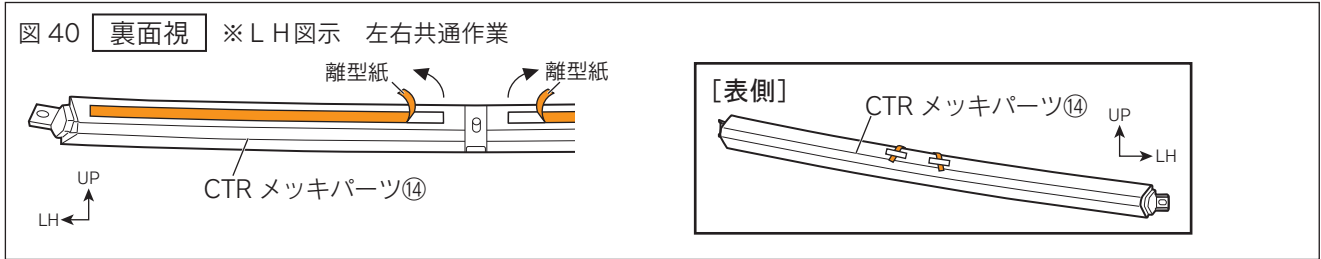
3. 図 39 のように CTR メッキパーツ⑭、サイドメッキパーツ⑮の両面テープ貼り付け部 (左図斜線部) に PAC プライマー K-500⑩を塗布する。

△注意：PAC プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール (IPA) で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

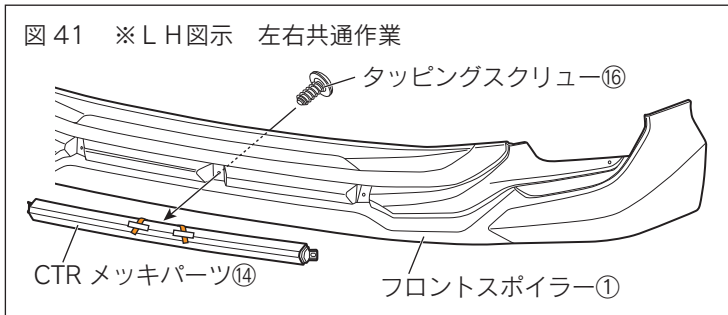
△注意：PAC プライマー K-500 は本製品取り付け時に再使用します。揮発性が高いので速やかに袋に戻し揮発を抑えてください。

4. マスキングテープを剥がす。

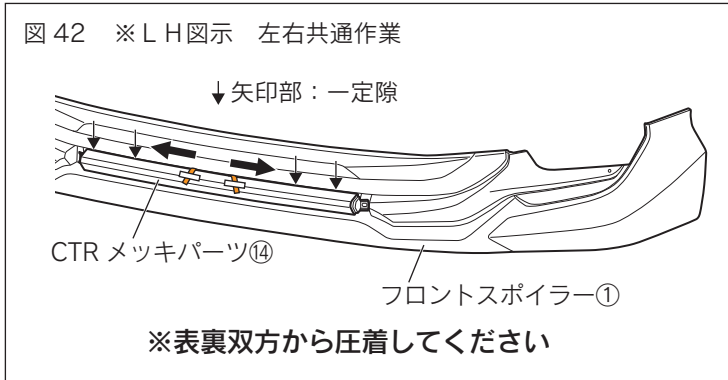
5. 図 40 のように CTR メッキパーツ⑭の両面テープの離型紙を矢印の方向に約 30mm 剥がしてマスキングテープ等で表側に貼り付ける。(2箇所)



アドバイス：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼り付け作業前に両面テープ部及び貼り付け部をドライヤー等で約40℃程度に温めてください。



6. 図 41 のように CTR メッキパーツ⑭をフロントスポイラー①にあて、裏側からタッピングスクリュー⑯で仮締めする。(1箇所)



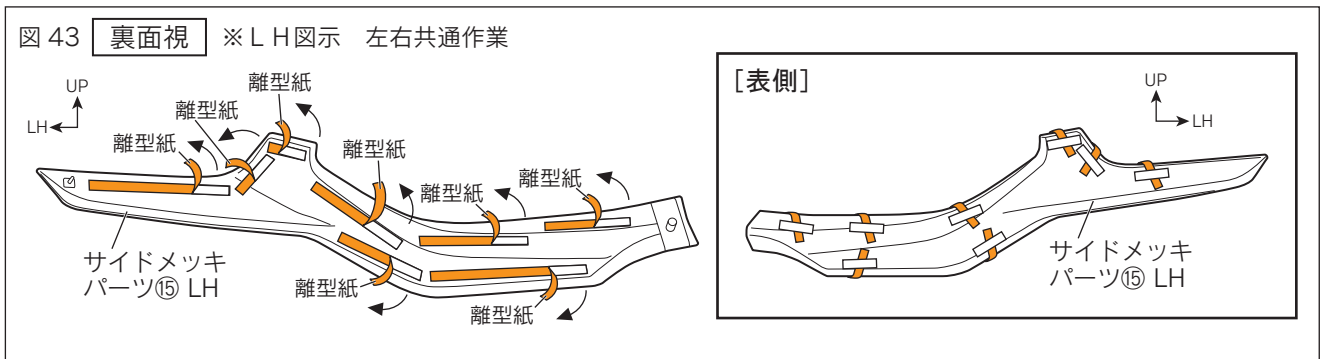
7. 図 42 のように取り付け位置を確認して両面テープの離型紙を矢印の方向へ剥がしながら貼り付け圧着する。(2箇所)

△注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙や浮き・剥がれが発生するおそれがあります。

△注意：両面テープの圧着は、49N(5kgf)程度の力で行ってください。

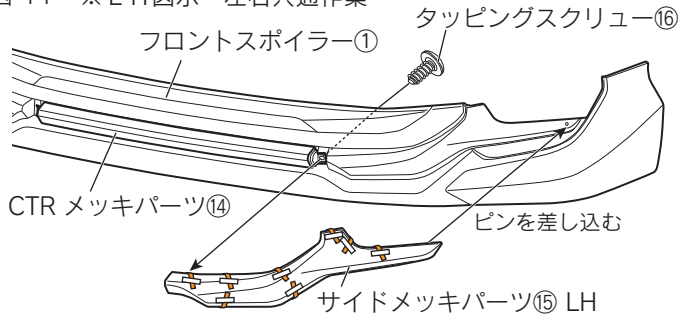
8. タッピングスクリュー⑯を本締めする。(1箇所)

9. 図 43 のようにサイドメッキパーツ⑮の両面テープの離型紙を矢印の方向に約 30mm 剥がしてマスキングテープ等で表側に貼り付ける。(左右各8箇所)



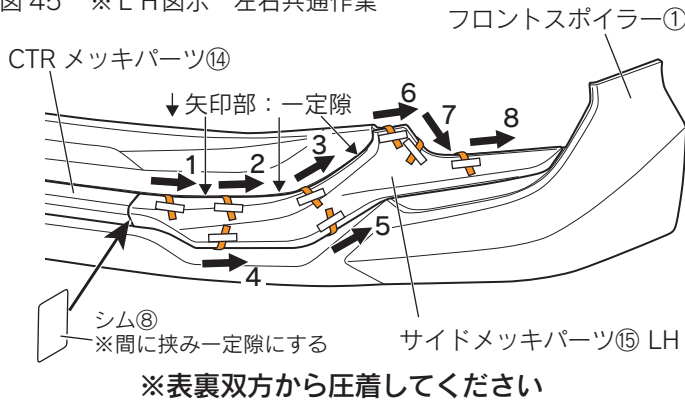
アドバイス：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼り付け作業前に両面テープ部及び貼り付け部をドライヤー等で約40℃程度に温めてください。

図 44 ※LH図示 左右共通作業



10. 図 44 のようにサイドメッキパーツ⑮をフロントスポイラー①にあて、裏側からタッピングスクリュー⑯で仮締めする。(左右各 1 箇所)

図 45 ※LH図示 左右共通作業

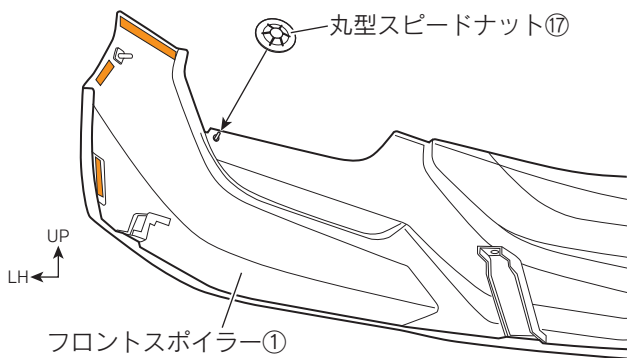


11. 図 45 のようにサイドメッキパーツ⑮と CTR メッキパーツ⑭の間にシム⑧を挟み、一定隙になるよう取り付け位置を確認して両面テープの離型紙を矢印の方向へ番号順に剥がしながら貼り付け圧着する。(左右各 8 箇所)

△注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙や浮き・剥がれが発生するおそれがあります。

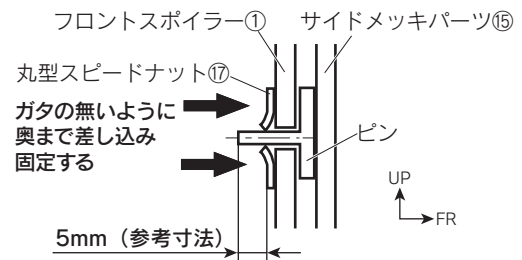
△注意：両面テープの圧着は、49N(5kgf)程度の力で行ってください。

図 46 裏面視 ※LH図示 左右共通作業



12. タッピングスクリュー⑯を本締めする。(左右各 1 箇所)

13. 図 46 のようにフロントスポイラー①裏側からサイドメッキパーツ⑮のピンに丸型スピードナット⑰を取り付ける。(左右各 1 箇所)



△注意：サイドメッキパーツ⑮とフロントスポイラー①にガタが無いように丸型スピードナット⑰を奥まで押し込んでください。丸型スピードナット⑰が奥まで押し込まれていないとサイドメッキパーツ⑮が浮く可能性があります。

**アドバイス**

両面テープの接着力は安定するまで3～5時間程度必要です。製品の取り付け後は、最低3時間程度、強い振動や風圧（車両の移動を含む）が、掛からないようにオープンタイム（静止時間）お取りください。

**警告**

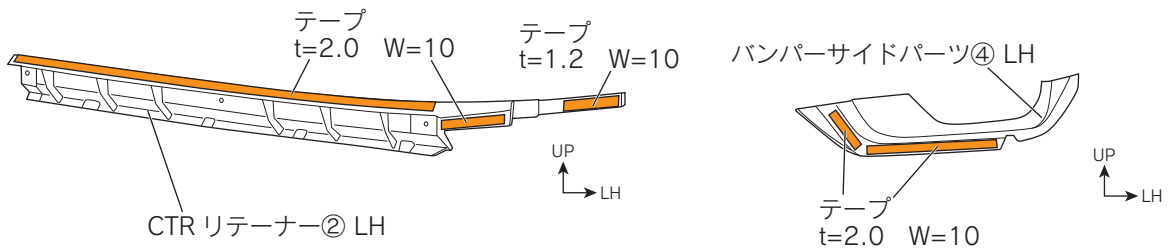
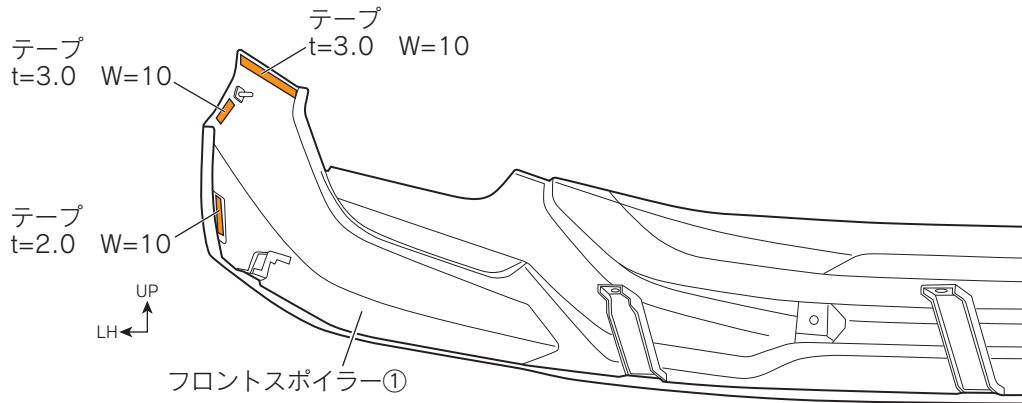
両面テープは十分に圧着してください。圧着が不十分な場合、浮き・剥がれ等の症状が発生し脱落などの重大な不具合が発生する可能性があります。両面テープ接着後、24時間以内は雨・洗車等で接着部に水が掛からないようにしてください。接着力が低下し、剥がれ・脱落等が発生する可能性があります。

14. CTR メッキパーツ⑭、サイドメッキパーツ⑮の取り付け状態を確認し、両面テープ貼り付け部を再圧着する。

## ■ 補修キット両面テープ貼り付け

- 補修キットを使用してフロントスポイラー①の再取り付けを行う際は、下図を参考に両面テープを選択し貼り付ける。  
 ※両面テープを貼り付ける際は、貼り付け部を脱脂し、プライマー（PAC プライマー K-500 相当）を塗布する。

裏面視 ※LH図示 左右共通作業



株式会社トヨタカスタマイジング&ディベロップメント  
 MODELLISTA 商品問い合わせ窓口  
 TEL:050-3161-1000  
<https://www.modellista.co.jp/>